

プリンス／パープル・レイン (1984)

PURPLE RAIN

メディア 映画
ジャンル 青春 音楽
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 111分
初公開日 1985/02/09
公開情報 WB
映倫 PG12

【解説】

アクの強さではダントツの天才ロック・ミュージシャン、プリンス。彼の下積み時代のサクセス・ストーリーに関係者自らが出演した、自伝的青春映画。ミネアポリスで人気No. 1のバンド『ザ・レヴォリューション』のリーダー“キッド”は、近頃頭角を現わしてきた『ザ・タイム』の存在に危機感を抱いていた。折しもバンド仲間とは不協和音が聞こえ始め、家族問題も深刻化、さらに恋人との関係も最悪状態。それでも彼は自分の我を通そうとしていた……。悩み苦しんで最後はハッピー・エンド。と言った単純明快なストーリーではあるが、そこに家族問題を盛り込んでいることで物語に広がりを与え、並の青春映画とは一味違う仕上がりになっている。また、プリンス独自の“ビート”と場面展開をリンクさせて見せる演出もなかなかの出来。出演者たちもなんとか平均点クラスの演技をしているが、『ザ・タイム』のM・ディはプリンスとは対称的なキャラクターを好演している。本作はアカデミー賞主題歌賞（同名タイトル曲）を獲得し、プリンス映画デビューに花を添えている。90年には続編「グラフィティ・ブリッジ」が完成しているが日本では未公開（後にビデオ発売）になっている。

【クレジット】

監督	アルバート・マグノーリ	Albert Magnoli
製作	ロバート・カヴァロ	Robert Cavallo
	ジョゼフ・ラファロ	Joseph Ruffalo
	スティーヴン・ファークノリ	Steven Fargnoli
脚本	アルバート・マグノーリ	Albert Magnoli
	ウィリアム・ブリン	William Blinn
撮影	ドナルド・E・ソーリン	Donald E. Thorin
音楽	プリンス	Prince
	ミシェル・コロンビエ	Michel Colombier
出演	プリンス	Prince
	アポロニア・コテロ	Apollonia Kotero
	モリス・デイ	Morris Day
	オルガ・カルラトス	Olga Karlatos
	クラレンス・ウィリアムズ三世	Clarence Williams III
	ジェローム・ベントン	Jerome Benton
	ビリー・スパークス	Billy Sparks
	ウェンディ・メルヴォワン	Wendy Melvoin
	リサ・コールマン	Lisa Coleman

